

MGF は、☑️神第一主義、☑️キリスト中心主義、☑️聖霊主導主義の教会

礼拝黙想 *Meditating on Worship*

「愛とは、愛し得ない者を愛するということであって、そうでなければ何の価値もない。」(G・K・チェスタートン)

「真の愛というものは、愛するにふさわしいものを愛するのではなく、

だれからもかえりみられない価値なきものを愛することなのではないか。」(三浦綾子)

A 「ああ、人を喜ばせる愛よ。あなたはなんと美しく、美しいことよ。」

(雅歌 7 : 6)

愛とは何か。このあまりに難しい問題。

ヨハネの手紙第一 3章23～24節

私たちが御子イエス・キリストの名を信じ、キリストが命じられたとおりに互いに愛し合うこと、それが神の命令です。神の命令を守る者は神のうちにとどまり、神もまた、その人のうちにとどまります。(『聖書 新改訳2017』新日本聖書刊行会)

ヨハネの手紙のこの第3章には「罪をおかす人は悪魔の子どもです」とか「義を行わない人は神の子ではありません」なんてことが書いてあるので、僕のようなぐうたらクリスチャンは「ドキッ」としてしまいます。「ごめんなさい神様、僕はまだまだ罪だらけです」とひれ伏すばかりです。

しかしその最後にこうして「とにかく愛しあうことだよ、それが何よりの神様からの命令だよ！」と言ってもらえることは救いです。もちろん、愛することって実はとても難しいことで、愛を实践しようとするほど、その難しさを痛感するばかりなのですが、それでもその難しさを痛感するくらいに愛を实践しようとしていることは、明らかに聖書からの影響を自分が受けているという証拠ですから、これも神様の恵みだと思えます。

さてそもそも、「愛する」ってどういうことでしょうか？「愛が一番大事！」というのが聖

書の最重要テーマの一つですが、「では愛ってなによ？」と問われると、実は意外と答えるのが難しいものです。

誰かを大切にしてお互いに優しく接すること？

もちろんそれも愛の一部ですが、一部でしかありません。

誰かのために自分を犠牲にすること？

もちろんそれも愛の一部ですが、一部でしかありません。

誰にでも笑顔でいること？

もちろんそれも愛の一部ですが、一部でしかありません。

世で「これこそ愛！」と叫ばれるものも、どれも確かに愛の一部ではありますが、一部でしかありません。

愛の定義はかくも難しい。

新約聖書はギリシア語で書かれていますから、ある程度ギリシア文化の影響も受けているのですけれど、ギリシア哲学では愛をこのように定義しています。すなわち「愛とはカオスがコスモスに向かうベクトル、憎しみとはコスモスがカオスに向かうベクトル」。

「コスモス」というのは「秩序、共栄、ハーモニー」みたいな意味で、「カオス」は「混沌、不協和」みたいな意味です。たとえば結婚は、もともとバラバラだった二人が小さい新しい秩序を構成するわけですから「カオス→コスモス」で、「愛」です。離婚は一つの小さい秩序が解体されて、バラバラな状態になるわけですから「コスモス→カオス」で「憎しみ」です。「あなたを愛しています」という告白は「あなたとわたしの間に新しい秩序ができつつあります」という告白なわけです。まあこんな告

白をしたらその秩序もあっさり崩壊する、つまりフラれるでしょうけれども。

世の中のあらゆるものは、放っておけばバラバラになるようにできています。互いに秩序を持たないことの方が自然なことであって、バラバラなもの同士が秩序を構成する方が不思議なことです。さまざまな分子が繋がりがあって、複雑な生命を構成するなんていうのはその最たるものです。しかしそこに「愛」という力が存在するゆえに(物理学的には「強い力」とか「弱い力」とか「重力」とかと呼ぶのでしようけれど)世界は、地球は、宇宙は、有機的な秩序をもって動いています。

バラバラに生まれた二人の人間が結ばれるというのも考えてみれば不思議なことです。しかしだからこそそれが「愛」と呼ばれるのでしょう。

「カオス→コスモス」か「コスモス→カオス」か。これぞ愛の定義だぞ！とは決して断言できるものではありませんが、僕は自分の行動を鑑みるときに、一つの尺度としてこれを使って考えています。するとなんとなくでも、おぼろげでも、見えてくるものもあるんです。

横坂剛比古(MARO)

MARO 1979年東京生まれ。慶応義塾大学文学部哲学科、パークリー音楽大学 CWP 卒。キリスト教会をはじめ、お寺や神社のサポートも行う宗教法人専門の行政書士。2020年7月よりクリスチャンプレスのディレクターに。10万人以上のフォロワーがいるツイッターアカウント「上馬キリスト教会 (@kamiumach)」の運営を行う「まじめ担当」。

「愛する」ってどういうこと？

中村 穰 (なかむら・じょう)

2009 年、米国のウエスレー神学大学院卒業。帰国後、上野の森キリスト教会で宣教主事として奉仕。

2014 年、埼玉県飯能市に移住。飯能の山キリスト教会を立ち上げる。2016 年に教会カフェを始める。

現在、聖望学園で聖書を教えつつ、上野公園でホームレス伝道を続けている。

御父は、私たちが暗闇の力から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。

コロサイ人への手紙一章一三節

聖書には互いに愛し合いなさいとあります。しかし、私たちがお互いにうまく愛し合うために、イエス様が十字架にかかってくださったわけではありません。イエス様の十字架はもっと深い愛です。私たちがまだ罪人であったときに、それでも私たちのために死んでくださった愛です。私たちが主のもとへ帰り、神の家族となるためです。

今回は、そのことを見ていきたいと思えます。

教会に、もっと人を愛したいと真剣に悩んでいる青年がいます。人を愛そうと一生懸命努力しています。しかし、心には愛とは違う感情がどうしても残るといいます。憎しみがあつたり、愛しているといっても、結局自分のためなのではないかと思ったり……。

そんなとき、彼に話したことがあります。お恥ずかしい話ですが、わが家の夫婦喧嘩話です。一番話を聞きたいと思っている相手であるはずの妻なのに、実は一番話を聞くことができません。理解したいと思っているのですが、大切な相手だけに、苦しんだりしていると「そうだね」と同意できず、「でもさ」と言いたくなってしまう。妻は私に話を聞いてもらいた

いだけなのですが、私は話を聞いているうちに妻の気持ちを受け取ることよりも、「こうしたほうがよいのでは？」と解決策ばかりを考えてしまい、妻を傷つけてしまうのです。

しかし、妻を怒らせたからといって、そこに愛がないわけではないのです。夫としての言い訳ですが、愛しているからこそ、口を出してしまうのです。自分の最愛の妻を守ろうとする思いがそこにあるのです。妻が傷ついていると私もつらくなるので、つい口が出てしまうのです。

教会の青年にも、憎しみが心に残るのは友だちを愛しているからではないだろうか、と伝えました。愛しているからこそ、つい気になってしまうのではないかと思うのです。うまく愛せないからといって、自分は愛がない人間なんだと自己卑下することは間違いです。マザー・テレサも、愛の反対は無関心であると言っています。愛があるから悩むのです。

ここにも、神から始まる「新しい自分」の入り口があります。愛せないと悩むのではなく、本当の愛がどこから始まるのかを知るチャンスです。二つのことに注目したいと思います。

まず一つ目は、「あなたに愛がないことを教えてくれているのは神ご自身である」ことを知ることです。神様は、あなたがうまく愛せないからといって、「だめだね、愛が足りないね」と責めたりしません。本当のところを言えば、私たちは自力で、自分の愛のなさに気づくことすらもできないのです。だから、「愛が足りないなあ」と感じている時は、「わたしの力は弱さのうちに完全に現れる」と、イエス様が言われる恵みが注がれている時と言えます。

二つ目は、「自分に愛がないことを知る体験から、本当の愛が始まる」ということです。本当の愛は神様から始まることを、イエス様との信頼のうちに知る必要があります。

愛がないと悩むのは、自分の中に愛を見つつけようとしているからです。そうではなく、愛のなさを知ることこそが、神様へ向かう、へりくだりの道なのです。神様は、愛のない私をも必要とし、「わたしのもとに来なさい」と呼んでくださっているのです。

私たちは闇の力から救い出され、御子の支配下に移されたことをいつも覚えていたいと思います。イエス様は、うまくできたかどうかと考える成果主義の社会から、私たちを救い出してくださいました。どうしてうまく互いに愛し合えなかったのかと、この世の価値観で悩むのではなく、私たちはうまく愛せない、弱い、愛の足りない自分自身として主のもとにくだりましょう。

そのとき、私たちは、父なる神とイエス様が互いに愛し合う本当の愛のうちに、自分が生かされていることを知ることができます。たとえ、私の中に愛がなくても、神様の愛のうちに生かされているので、お互いを愛し合う本当の愛を現すことができるのです。

それは、私が愛をもっているからではありません。逆に、私にはその愛がないことを知って、十字架の元にへりくだり、愛のない私がもう一度、イエス様と出会うことで、神様の愛を現すことができるようになるのです。

「愛はある意味では損なことである。自分が損をしていくことが愛である。自分が得をすることは利用だと思う。」(榎本保郎)

「人間的な愛は、自分自身のために他者を愛し、霊的な愛はキリストのために他者を愛する。」(ディートリヒ・ボンヘッファー) Ω

<お知らせ ANNOUNCEMENT>

★ 11月 3日 (日) MGF 秋の運動会

★ 11月 10日、24日 ディアコノスによるランチ提供があり

★ 11月 17日 (日) ポットラック

MGF はキリスト狂徒の集まるキリスト狂会

「教会 [マラナサ・グレイス・フェローシップ (略称: MGF)] はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです」(エペソ 1: 23)。「あなたがた [MGF] は、キリストにあって満たされているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです」(コロサイ 2: 10)。